大阪経済大学 経営企画部 広報課

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS

誰もが、誰かの
きっかけに。

SOU 創発 HATSU

No. 54
大阪経済大学
広報誌



「ZEMI-1 in 藤原ゼミ グランプリへの道」

p.04>>





SOUHATSU "創発"トークセッション

TALK SESSION 20代30代経営者対談

株式会社NEXERA
代表取締役社長 飛田 恭兵さん

×

株式会社ベルタ・株式会社ビーボ
代表取締役社長 武川 克己さん

p.02>>

卒業生・在校生"創発"アンケート

一問多答

同窓生に聞きました

"チームにまつわる"思い出深いエピソードは？

p.06>>

広報隊がゆく！

オンライン授業、ぶっちゃけどうですか？

p.08>>

SOUHATSU
p.10 news & topics

p.13 周年企画 年表でわかる! 本学と日本・世界の動き

p.14 大樟会だより

“経営学部での授業が、現在につながっ　ていますね（飛田）

SOUHATSU “創発”トークセッション
TALK SESSION
20代30代経営者対談

卒業後に起業し、現在経営者として活躍されている武川克己さんと、飛田恭兵さん。世代の異なるお二人に学生時代のお話や経営者としての考えを伺いました。

—お二人は、どのような学生時代を過ごされましたか。

武川 大学2年の時に読んだ小説「竜馬がゆく」で、起業を意識するようになりました。自分の人生を使って日本のために走り回っている幕末志士の生き様に、大変衝撃を受けたんです。じゃあ現代だったらどんな生き方がそれに近いんだろうと思い、起業家という考えに至りました。そこで、他大学の仲間との交流や起業家イベントなどにも参加するようになり、会社を立ち上げるきっかけを得ました。

飛田 それが今の会社ですか？

武川 いえ、卒業から1年後にその会社はクローズして、僕は上京することにしました。東京のデジタルマーケティング会社で数年働き、26歳の時に株式会社ベルタの前身となる株式会社ビーボを創業しました。

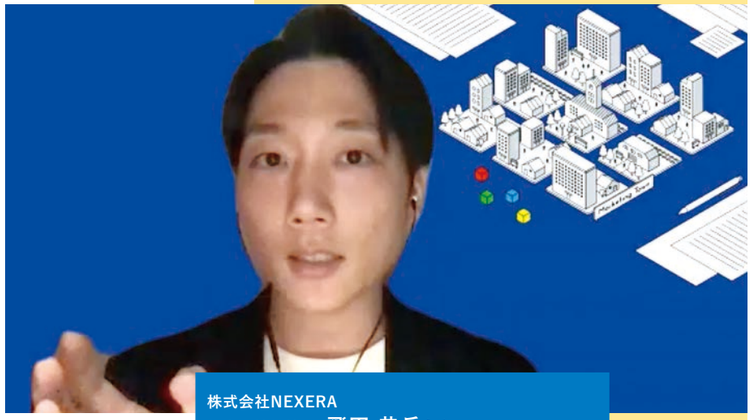
飛田 僕も一度就職して、26歳で独立しています。

武川 同じですね。

飛田 僕も学生のうちからなんとなく、「経営者になる」というイメージは持っていました。でも最初は、経営者は何をするのか、事業は何にすべきなのかなど、全く想像もつきません。大学で、新規事業を考える授業やボードゲームを使って会社経営を疑似体験できる授業があったおかげで具体的に考えることができて、現在につながっています。

武川 飛田さんは、大学での学びが直接的に役立っているんですね。僕は大学にあまり友達もいなかったし、思い出はほとんどないんですが……（笑）。あ、そういえば20歳の時に書いた「人生十訓」があるのですが、その用紙を17年間携帯しています。出張でも旅行でも、常に手の届くところにあり、ふとした時に読み返します。その内容は、会社のバリュー（価値基準）にもつながっていますね。

飛田 それはすごいですね！



株式会社NEXERA
代表取締役社長 **飛田 恭兵さん**

1992年兵庫県生まれ。2015年経営学部卒。2018年に株式会社NEXERA設立。経営視点を疑似体験できるボードゲーム「Marketing Town」を使った、研修サービスを提供。2年で総受講者数は3,000名を越え、多くの企業に研修として採用されている。
https://marketingtown.jp/

“新しいものが市場にどう受け入れられるか、という挑戦は楽しい（飛田）

武川さんの「人生十訓」。「志を持ち常にチャレンジしなさい」など、今につながる言葉が綴られている。



—お仕事のどんなところに面白さを感じていらっしゃいますか。

飛田 まだ経験の浅い僕が言えることはそれほどないのですが、自分たちが「これだ」と思うプロダクトを作って、それが市場にどう受け入れられていくのか、という挑戦は楽しいですね。最初は「本当にできるのかな？」と思っていましたが、戦略的なマーケティングが奏功して、何のコネクションもない僕たちが、サイバーエージェントやLINEなどのメガベンチャー企業から、旭化成やみずほ銀行など大手企業など多くの企業様から研修を任せていただけるようになりました。

武川 なるほど。僕は、会社って生き物だと思っていて。働く人も、商品も、企業文化もどんどん変化していく。だからこそ面白いし、愛情を大切にしていますね。

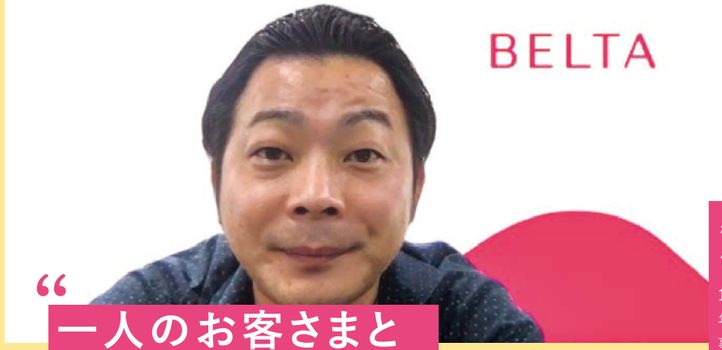


飛田さんがプロデュースしたボードゲーム「Marketing Town」。コロナ禍でオンライン版も開始された。

飛田 各事業は、どのように展開していったのですか？

武川 いろんな事業をやっているね、と言われるのですが、あくまでも見ているのは一人のお客さまなんです。最初に始めたのはD2C事業で、「商品を買ってくれるお客さまとこの先もつながっていたい」という観点で、ベビー用品レンタル事業や産後キャリア支援事業などを始めていったという経緯があります。結局、一人のお客さまにどんな価値を提供できるのか、ということを一番大事にしていますね。

飛田 そうでしたか。僕も、一つのことに固執せず、顧客のニーズに応えていくことが大切だなと最近実感しています。創業2年目でコロナ禍となってしまったのですが、やはりボードゲームもオンライン化が求められるようになってきました。僕自身は対面での学びが一番だと考えているのですが、時代の変化に合わせて、柔軟な対応をしていくべきだと感じています。



“一人のお客さまとずっとつながるには？という観点で事業を展開（武川）

株式会社ベルタ・株式会社ビーボ
代表取締役社長 **武川 克己さん**

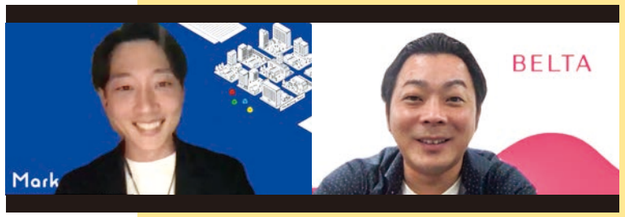
1984年京都府生まれ。2006年経済学部卒。2010年に株式会社ビーボを創業し、D2C事業、キャリア事業、メディア事業、レンタル事業、医療サービス事業を手がける。2020年から事業を分社化し、株式会社ベルタの代表取締役社長に就任。

株式会社ベルタ：https://belta.co.jp/
株式会社ビーボ：https://bbo.co.jp/

—最後に、本日の対談の感想をお願いします。

武川 飛田さんのスマートさにびっくりしました。経営者としてお話していると、ほとんど歳の差は感じませんでしたね。

飛田 ありがとうございます。僕は、武川さんのように成功している人は、やはり芯がグッとあるんだなと感じました。今日の僕たちの話が、読者の方にとって「こういう生き方・働き方もあるのか」という一つの参考になれば嬉しいですね。



「創発トークセッション」に参加されたい卒業生の方を募集しています。自薦他薦は問いません。広報課までご連絡ください。

人気ゼミをのぞいてみた。

大経大の人気ゼミに潜入！
学生たちの学び合いの様子をお届けします。

Vol.01
藤原ゼミ

ZEMI-1グランプリへの道

ZEMI-1グランプリ上位の常連、藤原ゼミ（経済学部）。今年のゼミ生たちも ZEMI-1グランプリ優勝を目指して各チームでディスカッションを進めています。2021年5月25日と6月1日に行われたオンラインゼミでは、どのように研究を進めるべきか話し合われました。

この4名のチームに密着！


東口 菜月（ひがしぐち なつき）


添田音寧（そえだ ねね）


松田 浩太（まつだ こうた）


野上 啓太（のがみ けいた）

研究テーマ　合理的な人間に～サンクコストに挑む～

藤原忠毅 准教授 より

ゼミでは、先輩・後輩の前で発表する機会を必ず設けています。自然と縦のつながりが生まれるので、学生同士でZEMI-1だけでなく、就活の相談などもできているようです。



5/25

「サンクコスト効果を知っていれば、人は合理的な判断ができるのか？」というテーマに対して、どのような実験をするべきか4人でディスカッション。アンケートの質問を考え中です。

東口：（アンケート質問のメモを見て）この「ゼロコスト」って何のこと？

松田：自分がコストをかけている場合と、そうじゃないゼロコストの場合との比較もした方がいいかなと思って。過去のZEMI-1の動画見たけど、そういうの、審査員から質問来るから。

東口：そっか、それはいいね。

添田：じゃあ、アンケートの質問は、今出ている3種類にするってこと？

松田：そうだね。

添田：いいと思う。でもそれぞれ、投資額の設定が難しいね。

松田：3千円の場合、3万円の場合みたいに、いくつかパターン設定があった方がいいかな？

東口：それか、「いくらだったらやめますか」って聞いて、投資額は自由回答にするのは？ あれ、こっちの方がややこしいかな？

松田：聞くだけ聞いてみてもいいかも。

東口：先生、これいつアンケート取ったらいいんですか？

藤原：いつでもどうぞ。とりあえずゼミ生17人に聞いてみたらいいよ。サンプル数はめっちゃ少ないけど、まず一旦やってみる。他のチームにもそう言っているから、そこはお互い様で、何回やってもいいやん。

野上：わかりました、ありがとうございます。

東口：ねぇこれさ、私たちの仮設の検証も同時にするってこと？ サンクコスト効果を知らない人にこの質問して、その後さらにサンクコスト効果の説明をして、また質問するってことだよね？ それも追加しないといけない？

松田：そうだね。

東口：うーん、質問多いなぁ……。

野上：被験者のグループ分けも必要だから、結構大変だね。

東口：あと、実際の調査対象は、別に大学生に限定しなくていいんじゃない？

松田：でも、過去のZEMI-1の動画だと、調査対象について審査員から結構質問されてた。例えば調査対象を「20代」ってしてると、「なんで20代に限定したの？ 20代でも学生と社会人だと差があるんじゃない？」とか、いろいろ質問来る。

東口：対象が「大学生だけ」だったら、質問されないの？

松田：「20代」と違って「大学生」なら条件が一緒だし、「アンケートとりやすい範囲で大学生に限定しました」って言えるから、それはありなんじゃない。

東口：わかった、じゃあ大学生にしよう。自分めっちゃ過去の動画みて研究してるやん。

松田：まぁ（笑）

添田：そろそろ時間切れだね。

東口：は～、なんか久しぶりに頭動かしたわ。

松田：でもまずいな、今週どこかで集まろう。

添田・野上・東口：そうだね。

アンケートの質問内容を
具体的に決めきれないまま、
この日の授業時間は
終了となりました。

？ サンクコスト効果（行動経済学用語）

「すでに支払ってしまい、取り返すことのできない金銭的・時間的・労力的なコスト＝サンクコスト（埋没費用）」を取り戻そうとする心理効果のこと。サンクコスト効果の影響を受けると、「こんなに払ったのだから、やめたらもったいない」と考え、損が出ても予定していた活動を続けてしまうなど、合理的な意思決定ができなくなる。

6/1

今回のゼミは、進捗状況の発表。5月25日のゼミの後、4人で数回話し合い、質問を細かく決めて、ゼミ生にテスト的にアンケートを実施しました。

添田：私たちは、大きく3種類の質問を実施しました。

Q.1

自分の欲しいぬいぐるみ（1,500円相当）がクレーンゲームにあります。今まで2,000円賭けましたが、取れませんでした。クレーンゲームを続けますか？

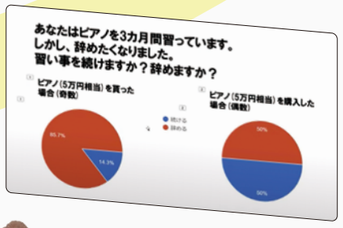
Q.2

毎月3,000円の宝くじを購入して1年が経過しました。合計で3万6,000円投資しました。購入しますか？ しませんか？

Q.3

あなたはピアノを3ヶ月間習っています。しかし、辞めたくなりました。習い事をやめますか？ 続けますか？

（5万円相当のピアノを貰った設定のグループと、5万円相当のピアノを自分で購入した設定のグループで回答を比較）



藤原：実験を3つ用意した目的は？ それぞれの意図を教えてもらえるかな？

東口：自分たちのテーマを検証する前に、まずそもそも、サンクコスト効果自体を試してみたかったからです。

藤原：なるほど、それぞれどんな予想をしていたの？

松田：どの実験でも、投資額を取り戻そうとそのまま続ける人（＝サンクコスト効果を受ける人）の方が多いと思っていたんですが、うまく結果が出ませんでした。質問の仕方が悪かったり、例が身近じゃなかったりしたせいだと思います。

藤原：質問1と質問2は失敗した（＝サンクコスト効果が働かなかった）のね。

松田：そうです。でも質問3だけは上手く結果が出ました。

藤原：確かに今回の結果を見ると、質問3はサンクコスト効果を表している気がするね。

野上：そうだと思います。

藤原：ところで、質問3の「ピアノ」ってピアノ本体？ 物理的にピアノくれたの？

松田：本体です。電子ピアノだったら5万円くらいなので。

藤原：そうか、僕だったらピアノじゃなくて、英会話のレッスン券とかでやるかなぁ。その方が一般的じゃないかな。ピアノレッスンだと男女で差が出るかもしれないし。

添田：そうですね。

藤原：今日は1回目のプレゼンなので問題ないけど、やっぱり全体的にはまだ粗いね。まずはサンクコスト効果が現れるかをやってから、次、方向性をさらに考えないとね。あと、今回実験はアンケートでやっているけど、対面でもやれそうだね。

松田：できたら対面でやってみたいです。

藤原：対面授業が再開したらできそうだね。テーマは面白いと思うから、この感じで進めていいと思うよ。最終的なゴールはまだ見えてないけど、いろいろやると、徐々に形になっていくので。

東口：ありがとうございます。

少しずつ方向性が見えてきた4名。
まだ課題はあるようですが、
ZEMI-1優勝に向けて、
一歩ずつ歩みを進めます。

卒業生・在校生“創発”アンケート

一問多答

同窓生に聞きました！

チームにまつわる思い出深いエピソードは？

本誌のタイトルであり、大阪経済大学のスローガンでもある「創発」。この言葉に関連するアンケートを実施し、みなさまの多様な回答を掲載します。今回は、卒業生75名に「チーム」や「チームづくり」にまつわるエピソードを聞いてみました！



適材適所で、舞台を作りあげた達成感！

大学時代は演劇研究部に所属していました。役者がいて、大道具を作る人がいて、舞台監督がいて……、と様々な役割の人がいて、全員でひとつの舞台を作り上げたことが今でも大切な思い出です。

（2017年卒 / 保険 / 事務）



チームづくりに必要なことは、部活動から学んだ。

大学生活でいえば、部活動で、OB諸氏、各年代の諸先輩や後輩等と接しながら、共に汗をかき、語らい、チームや個人の限界突破を目指し、共に戦い共創してきた経験が、「チームづくり」に必要なものを教えてくれたと感じています。

（1990年度卒 / 保険 / 主任）



勝敗は、監督次第！？

部活動をしていた際、同じチーム・同じメンバーでも、監督によって全く勝率が変わった経験をした。

（2020年卒 / 製造業 / 営業）

基準が“自分”のキャプテンは……

主将が「自分はできるから」と、他メンバーの意見を聞かずに過酷なメニューを与え、亀裂が生じた。

（2018年卒 / 食品 / 商品企画）



気にかけてくれる人がいるという安心感。

仕事で落ち込んだときには必ず、先輩が話を聞いてくれたり、飲みに連れて行ってくれたりして、その度に気持ちをリセットできる。「辞めたい」と思ったこともあったが、6年間仕事を続けられているのは、紛れもなく、今の職場の環境がいいから。

（2016年度卒 / 商社 / 営業職）

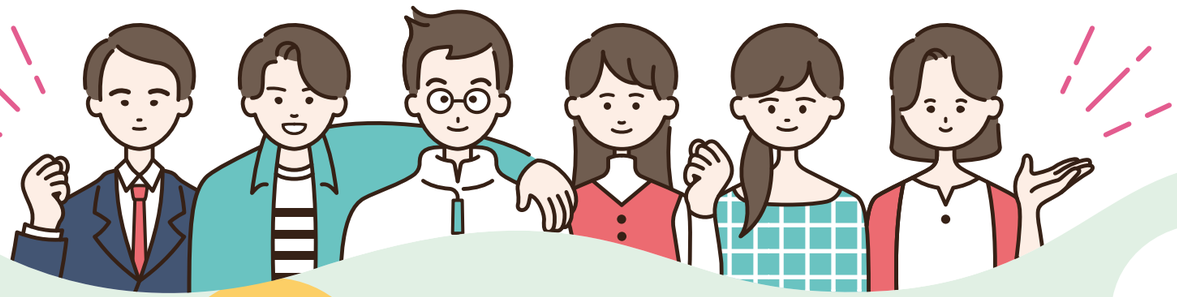


所長への抜てきが、自分を振り返る機会に。

新しい支社を立ち上げるにあたり、所長として参画することとなった。そのため支社長や他の所長と、理想の組織像を擦り合わせしている。その際に自分の「芯」を再確認できており、なぜこの会社で働くのか、なぜこの仕事をしているのか、人生の目標は何かを振り返る機会になっている。

（2013年卒 / 保険 / 営業）





手本となるリーダーの存在が重要！

支店長が率先垂範で様々な業務を行うことで、周りのメンバーも感化され、支店全体が活性化し、過去最高の売上をあげられるまで成長した。

（2012年卒 / コンサルティング業）



飲食店は、まさにチーム戦。

飲食店ではあるあるですが、人手不足でも、リーダーや誰かが頑張っていれば他のメンバーが「入りますよ」と言ってくれたり、昼間のメンバーが夜まで手伝ってくれたりと、自然に協力体制が生まれることが多いです。

（2018年卒 / 飲食 / 飲食チェーン店長）



チームといえば、やっぱりスポーツ！

高校野球をしていた時、どうすれば強くなるか、どうすれば相手を崩せるかを、仲間と日々考え練習していた。

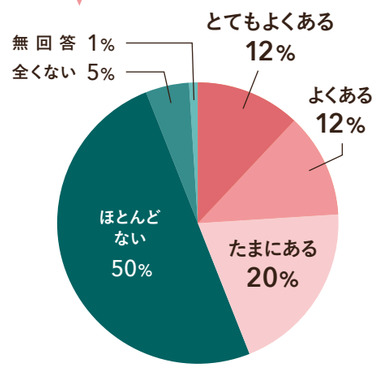
（2017年卒 / 求職中）

ちなみに……

半数近くの人が、「直接会わずにチームで仕事を進める経験」あり！

チームの形が多様化している現在、直接会わなくても共創する場面が増えているようです。今回のアンケートでは、44%の人が直接会わずに仕事をチームで進めていくことが「ある」と回答。オンラインミーティングの普及も背景にあるようです。

テレワークなど、直接会わずに仕事をチームで進めることはありますか



2021年5月、
本学卒業生75名を対象にアンケートを実施。

「創発アンケート」にご協力ください。➡

オンライン授業、ぶっちゃけどうですか

広報隊がゆく！

このページは、学生広報隊が企画・編集しています。私たちの「知りたい」「やってみたい」を原点に、大学の情報をお届けします！

オンライン授業の舞台裏

2年目に入ったオンライン授業。その実態や裏側はどうなっているのでしょうか？学生広報隊は、教員と外部講師の5人に取材を試み、先生方の工夫や努力などについて、お伺いしました。

学生広報隊noteには各取材・アンケート結果のさらに詳しい内容が載っています。ぜひ、ご覧ください！

経済学部 橋本 和彦先生



Q 動画で使用されている『ゆっくり』とは？

A 台本通りに話してくれる合成音声です。

Q 動画の作成工程は？

A 構成→台本→アニメーション作成→音声当てはめ、編集の順序です。動画作成は授業によりますが、10時間～1週間ほどかかります。

Q 動画作りで工夫している点は？

A 学生に興味を持ってもらえる内容で、自分が見ても面白いと思える講義かです。



Q 学生へのメッセージ

A 私達は建学精神に「自由と融和」を掲げている大学にいます。『ゆっくり』を用いた授業も自由な大学だからこそのモノです。学生には自由に考え行動し、面白いことを実行する。そしてそのような人と関わっていってほしいです。

経営学部 本間 利通先生



Q オンライン授業で心がけていることは？

A オンライン授業では、受講者との双方向のやりとりの活性化を心がけています。Q&Aや投票ができるツール『slido』を通じて、リアルタイムで受講者の反応を確認しています。活発なやりとりが発生しています。



Q オンラインで大勢の学生に伝えるための工夫は？

A 多くの学生に伝えるために、メールやレポートの書き方など“誰でもできる形式”から解説しています。例えばレポートは、1字下げや引用の仕方など、形式から学ぶことで書きやすくなると考えています。形式を学ぶことが、新しい思索を深める第一歩を踏み出すきっかけになればと期待しています。

Q 今後学生への期待は？

A 自分の考えをまとめることができるようになってほしいです。自分なりの意見を持つこと自体に価値があると信じて、少しずつ学習していってください。本当に期待しています。

情報社会学部 草薙 信照先生



Q 授業動画の作成時間は？

A 前回課題の整理、スライドの作成、収録など、毎回10時間くらいです。



Q 授業動画作りで最も工夫している点は？

A 1つ目は、アニメーションを駆使して、スライドのパーツを分けて出すことで先生と学生が同じ所を見るようにしています。2つ目は、授業の本題の内容はその場のアドリブで喋り“臨場感”を出せるようにしています。また、オンデマンドでも“時間を共有できる”ようなスライド作りを心がけ、一体感を出せるように工夫しています。

Q オンライン授業になり良かったことは？

A 先生・学生ともオンラインに慣れ、授業の新たな可能性が見えたことです。

Q 学生へのメッセージ・要望は？

A 授業への前向きな提案や意見をどんどん出してほしいです。今の自分にできることを探し、新しい発見と成長につなげてください。

人間科学部 小松 亜紀子先生



Q オンライン授業になって良かったことは？

A じっくり話を聞いてもらえることです。あとは、質問を多く挙げてくれることですね。理解度がわかるのと、疑問でも自分で慣れて盲点になっていることが皆さんの意見でなるほどと思うことがあります。

Q 授業動画作成に要する時間は？

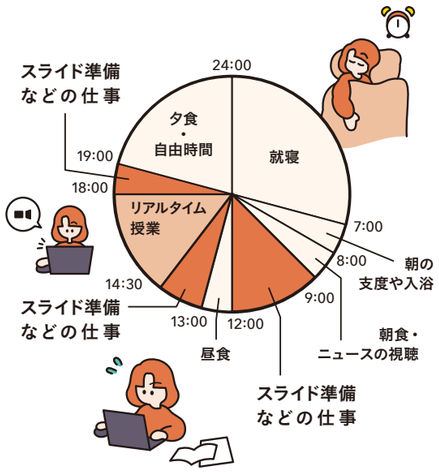
A スライドは2～5時間、録画は3～6時間くらい。編集やアップロードでも1時間くらいですね。



Q 学生へのメッセージ

A オンデマンド授業はため過ぎないで計画的にペースを保って学習してもらったほうがいいと思います。ため過ぎるとやっぱり疲れてしまうので。

小松先生の
オンライン授業のある木曜日のスケジュール



外部講師 桐生 富希先生



社会人基礎学力（SPI）の授業担当者である桐生富希先生に、授業に関する様々な質問に答えていただきました。先生は授業動画だからこそ一人一人に語りかけるような授業ができると話されていました。1000人以上いる受講生全員のコメントに、愛を持って楽しんで返信されているとのことで、とても学生想いの方であることがわかりました。また、図やアニメーション、身近な例え話を用いて、笑顔や動きをつけることを意識することで、数学が苦手な人にも楽しくわかりやすい授業をモットーにされています。そして、説明には記憶に残りやすい単語を選択するなど、細部にまで気を配られていました。学生にはSPIの内容だけでなく、プレゼンや話術など何からでも深く学んでほしいとお話ししてくださいました。

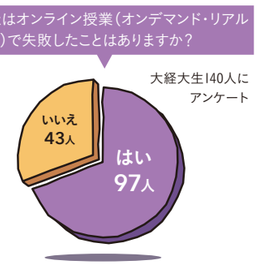


取材担当

- 小松先生：岡田、鷲山、槻木
- 草薙先生：藤代、日下
- 橋本先生：大村、井上、日下
- 本間先生：阪本
- 桐生先生：徳網、大谷、阪本、古川

オンライン授業での失敗談

孤独に感じてしまうオンライン授業。誰もが経験したことのある失敗や面白い失敗など様々な失敗談を集めて紹介します！今回のアンケートでは140人の方が回答してくれました。



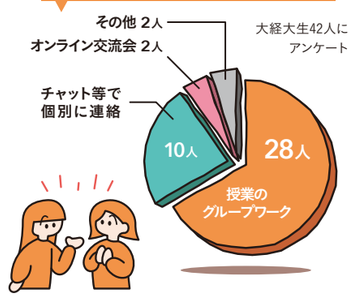


- 授業中に寝てしまって退出できなかったこと。
- KVCではなくてteamsにある課題の出し忘れ。
- teamsで間違えて主催者のボタンを押してしまい、授業とは別のグループを作ってしまったこと。
- メッセージ送信の際、改行しようとしてEnterボタンを押したらそのまま送信してしまったこと。

総評 アンケートの結果、約7割の人がオンライン授業で失敗したことがあると回答しており、多くの人がこれまで失敗を経験していることがわかりました。その中でも技術面や課題提出面、リアルタイムでの失敗が多く、共感できるものがたくさんあり面白かったです！

【アンケート担当】下谷、見瀬、中塚

オンラインでの友達の作り方



オンラインで友達を作るのが難しい中、今後に活かせる情報を調査し、発信できればと思い、このアンケートを実施しました。今回、アンケートに回答してくれた140人中42人が友達ができたと回答してくれました。

- グループワークで同じグループになった子に勇気を出してチャットを送り、LINEを交換して友達になることができた。
- つい本音を漏らしたら、意外と笑ってくれて盛り上がった。
- グループワークは緊張するけれど、積極的に発言することで案外仲良くなれる。
- グループワークの時に授業テーマ以外のこともトークする。

総評 アンケート結果を受け、多くの学生がオンラインでの友達作りの難しさを感じていることがわかりました。しかし、中には工夫をし、友達を作っている学生もいます。オンラインでの友達作りは工夫が大切だと改めて感じました。

【アンケート担当】藤代、峯岡、守屋、大江



学内行事





新入生交流会

2020年度入学式・2021年度入学式挙行

2020年度入学式

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年度はじめに開催できなかった2020年度新入生（新2年生）の"1年越しの入学式"を、2021年3月31日に大隅キャンパスにて挙行しました。卒業生である、ジャパネットたかたの創業者の髙田明氏もオンライン中継で登場し、「コロナのピンチをチャンスに変えていく。気持ちの持ちようによって、バラ色の未来が待ち構えている」と激励。これまでオンラインでしか交流のなかった同級生たちが初めての顔合わせに歓声をあげ、連絡先を交換する姿が見られました。

入学式終了後は、学生実行委員が企画した「新入生交流会」を大学構内で開催しました。交流会に参加した868名の新入生たちは、共通点探しなどのアイスブレイクや、大経大クイズなどのグループワークを通じて対面での交流を深めました。

2021年度入学式

2021年度新入生を対象とした「大阪経済大学2021年度入学式」を、4月1日に対面にて挙行しました。新しいスーツに身を包んだ新入生たちの緊張した表情が、マスク越しでも印象的でした。なお、いずれの入学式も本学ホームページからライブ配信を実施し、リモート参加ができるように環境を整えました。



2021年度入学式

SOUHATSU news & topics



ゼミ活動

若吉ゼミの学生が、能勢町で卒論報告会

本学スポーツ・文化センターは、能勢町教育委員会から協力依頼を受けて、2019年4月から、子どもたちの運動能力低下を防ぐためのコラボ企画「能勢っ子！ かけっこ！ 日本一！」を実施しています。

人間科学部若吉ゼミの学生たちは、能勢町の子どもたちの体力測定をサポートし、そのデータを元に、本コラボ企画実施に伴う運動能力の変化を分析してきました。2019年と2020年のデータを比較すると、能勢小学校の児童の50m走記録は全国平均より低かったものの、男女ともに5年生・6年生は全国平均より良い記録の伸びが認められました。この研究テーマで卒業論文に取り組んだ若吉ゼミの4人の学生が、2021年3月1日、能勢町役場にて論文発表を行いました。児童の運動有能感と体力測定記録の関係、指導の効果などを発表し、今後の「能勢っ子！ かけっこ！ 日本一！」活動への提言などもまとめました。



地域連携

摂津市で「地域に役立つ大学発共同連携事業」報告会

本学地域活性化支援センターは、2020年度から摂津市との地域連携事業を進めています。2020年11月14日、摂津市市役所にて学生5チームによる地域活性化案の報告会を実施しました。学生たちは実際に地域においてフィールドワークを行い、新たなまちのあり方やアイデアを提案しました。



部活動

弓道部（女子）が日本インカレ優勝、日本一に輝く！

2020年12月20日、第68回全日本学生弓道選手権大会（日本インカレ）女子団体戦が行われ、本学が優勝しました。コロナ禍で練習もままならない中、できることを模索し技術や精神を鍛えて臨んだ今大会。チーム一丸となって決勝戦を戦い、悲願の大会初優勝をつかみ取りました。



学生の声

杉岡 亜純さん 主将／経営学部4年生

優勝した瞬間は涙が自然と溢れてきました。今年は試合が軒並み中止となり、開催された試合でも悔しさや不甲斐なさしか残らず、部としても苦しむことの方が多かったです。しかし、まっすぐに課題と向き合い、もがいた時間は無駄ではなかったことをこの試合が証明してくれました。応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

※学年は2020年12月時点。

提案内容

- **Aチーム：** 走ってまちを活性化　摂津の国風土（フード）マラソン＆フェスティバル　～鳥飼なすを添えて～
- **Bチーム：** インスタによるまちの情報発信　学生だけが知るインスタ活用お教えします
- **Cチーム：** 公共巡回バスによる「つながり」の創出　―セッピィ号の活用
- **Dチーム：** チャレンジカーによる賑わいづくり　―やってみーひんキッチンカー！
- **Eチーム：** 銘木団地の創造的活用　―まちあるきの視点から

森山市長による講評

摂津市の抱えている課題をよく理解されている。学生らしいフレッシュなアイデアをいただき、どのチームも甲乙つけがたかった。いただいた提案はぜひまち作りに活かしていきたいと思う。



学生の声



山岡 夕夏さん
Aチーム／経済学部4年生

チームごとにテーマを報告した初回のゼミで、私たちの案だけが却下されてしまい、それからは、チーム内でスライド1枚からシェアして、話し合いを重ねました。仲間と力を合わせて提案を作り上げたプロセスも、大勢の方の前で発表したことも、貴重な経験になりました。



研　究

人間科学部 相原正道教授が、文部科学大臣表彰受賞

スポーツ競技の要素を組み込んだスポーツゴミ拾い大会を運営・推進する「日本スポGOMI連盟」理事として普及啓発に携わり、また運動効果と環境教育の観点から研究を行っている、相原正道教授が、令和3年度の文部科学大臣表彰を受賞しました。本学の文部科学大臣表彰の受賞者としては、情報社会学部 中村健二教授（平成28年度 科学技術振興部門）に次ぐ2人目。人間科学部としては2002年の開設以来初となります。

令和3年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰
科学技術賞 理解増進部門受賞

業績：「世界で最も地球に優しいスポーツ スポGOMIの普及啓発」

山本学長がオリンピック聖火ランナーに

トピックス

2021年4月13日、山本俊一郎学長が東京オリンピック聖火ランナーとして万博記念公園内を走行しました。学長は「聖火リレーも『つながる力』を生み出す素晴らしい取り組みだと思います。スポーツに限ったことではありませんが、一日も早く安心して大声を出し、大勢の人々とライブ空間を共有し、選手を応援できる日が来ることを願っております」とコメントしました。聖火トーチは大学内に飾られる予定です。





動画も
ご覧いただけます

大隅キャンパスがドラマロケ地に

トピックス



2021年3月8日（月）から10日（水）、大隅キャンパスにて、関西テレビのドラマ撮影が行われました。とある私立高校の設定でB館を中心に、図書館、C館屋上、F館側の西門を撮影。大樟ホールはマンションのシーンで使われました。テレビ制作担当者によると、建物に遮られることなく夕日の全景が見えるD館テラスは、大阪市内でも珍しいスポットなのだそうです。

関西テレビ「クロシンリ 彼女が教える禁断の心理術」

ブラック心理術を操るミステリアスな女・クロノサキにもてあそばれる人々のドラマをブラックユーモア満載に描く、痛快サスペンス。

主演：久保史緒里（乃木坂46）　放送終了（2021年4月22日～6月10日放送）
https://www.ktv.jp/kuroshinri/

2022年
創立90周年企画

年表で
わかる！

本学と日本・世界の動き

全3回

第1回 1932年−1962年



1932
- 大阪：地下鉄御堂筋線（梅田⇔心斎橋）開通



1933



浪華高等商業学校開設

1935



昭和高等商業学校として新発足

- 前年の日米野球を契機に**東京巨人軍・大阪タイガース**が誕生

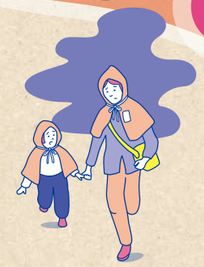
1936
- 二・二六事件
- 五・一五事件

1939
- 第2次世界大戦が勃発

1940
- 日独伊三国同盟締結

1941
- 東条英機内閣成立
- 太平洋戦争開戦

1943
- 学徒出陣
- ガダルカナル島の戦い



1944
- 学徒出陣などのために昭和高等商業学校の生徒募集を中止
- 大阪女子経済専門学校を設立
- 大阪大空襲

終戦 1945
- ポツダム宣言を受諾し、連合国に無条件降伏
- 広島・長崎に原子爆弾投下

1946
- 昭和高等商業学校を大阪経済専門学校（共学）に改称
- 大阪女子経済専門学校を廃止

1948
- 都道府県・市町村に教育委員会を設置
- 日本国憲法公布
- コンピュータ「ENIAC」の登場

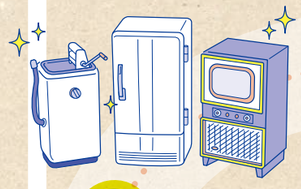
1949



- 学制改革により、大阪経済専門学校が大阪経済大学に昇格
- 経済学部経済学科を設置

1950
- 朝鮮戦争の影響による特需景気

1951
- 経済学部経済学科第二部を設置（※夜間部）
- 大阪経済専門学校を廃止



1952
- 米が人類初の水爆実験

1953
- テレビ本放送開始
- 人類初のエベレスト登頂に成功

1954

神武景気（1954～1957）
- 三種の神器（洗濯機・冷蔵庫・白黒テレビ）人気
- 自衛隊創設

1957
- ソ連が世界初の人工衛星打ち上げ

岩戸景気（1958～1961）
- 東京タワー完成



1958

1959
- 日本経済史研究所大阪経済大学で活動再開

1960
- 新日米安保条約調印
- 「ベルリンの壁」出現

1961
- ガガーリン、人類初の宇宙飛行成功



1962
- 経済学部経営学科第一部・第二部を設置

オリンピック景気（1962～1964）
- 首都高速道路1号線開通

次号へ

- キューバ革命

監修：「大阪経済大学史編纂に向けた基礎的研究－資料，モノ，人物からの接近－」研究グループ（研究代表者：上宮智之）

OKUSU-KAI NEWS

大樟会だより

2021 JULY

つながる力。No.1

大樟会（同窓会）は、会員相互の融和、親睦ならびに社会的地位の向上をはかると共に、
在学生支援と母校の発展に寄与することを目的としています。



イラスト：亭島和洋（65回）

10万人の“つながる力”を感じよう!!

大樟会の会員の皆様、そして学生会員の皆様には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

全国10万余名の同窓生とともに、本年度学生会員として新入生をお迎えできましたことを喜びといたしております。

さて、大学では、勉強や研究が第一義であることはもちろんですが、その他に友人という横のつながりや、先輩後輩という縦のつながりを形成するのにもよい機会です。是非、課外活動や社会活動をとおして、積極的に人間関係を広げていただきたいと思います。

当会のスローガンを「つながる力。No.1」とし、全国56支部と各種部会、職域会、同期会、クラブOB会の定期的な活動はもちろん、学生会員である在学生の進路支援、学術およびスポーツ・文化振興のための支援など積極的に取り組んでおります。また、今年度もコロナウイルスにより生活・勉学に困窮している学生を支援するため「食の支援第3弾・第4弾」を実施します。大学生協の協力による「無料弁当」や「50円ラーメン」の提供をとおして、学生の健康で安心なキャンパスライフを応援します。

大樟会組織は「同窓生のための成長と安寧の場」です。会員の皆様、大樟会会員10万人の「つながる力」を感じてください。



大阪経済大学大樟会
会長　角脇 忠行（34回）



第3弾のポスター



第4弾のポスター

大樟会 今後の活動予定

- 母校発展に寄与できる活動を積極的に行います。
- 在学生への食事支援等は、今後も継続します。
- 新入生への給付奨学金（遠隔地学生奨学金）を継続します。
- 長年の懸案でしたホームページのリニューアルを行います。

事務局からのお礼とお知らせ

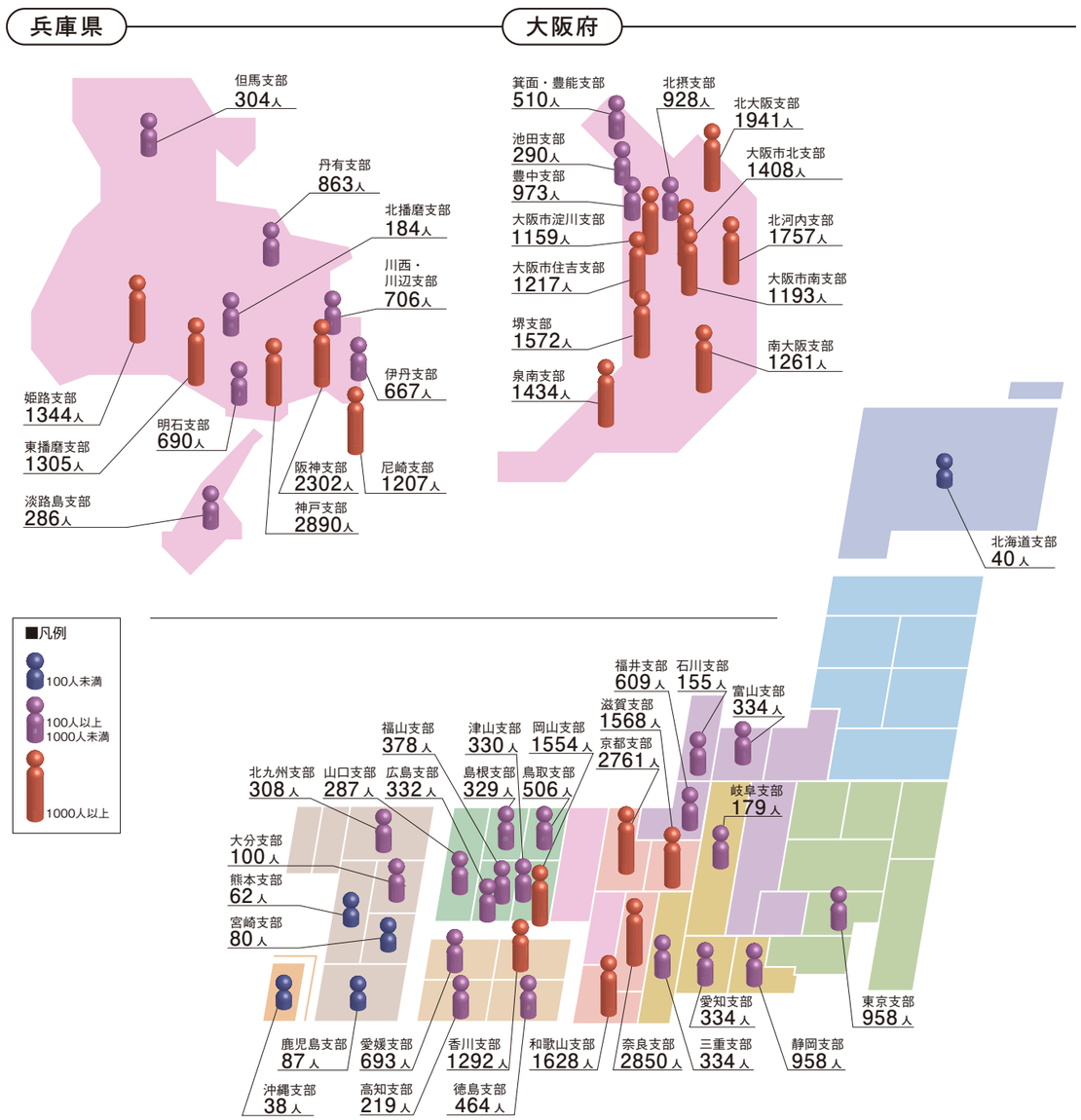
大樟会機関誌「澱江56号」にて皆様にご支援をお願いしましたところ、厳しい社会情勢にもかかわらず、千名以上の会員の方から過去最高額約300万円のご送金を賜りました。誠にありがとうございました。

今後とも、皆様のご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

都道府県別（地区別）支部会員数（2021年2月1日現在）

北海道から沖縄まで全国に56支部があります。各支部の活動予定等は、随時大樟会ホームページに掲載いたします。
年代は違っても、同じ学び舎で過ごした仲間です。出逢った瞬間に心は一つになり、固く結ばれます。
ぜひご参加下さい。お待ちしております。

大阪経済大学大樟会　検索



「澱江57号」は、好調に編集中です。
その中の一部をお知らせします。

▶母校の危機を2回も救った黒正巖初代学長の足跡を訪ねる旅、京都編。▶神戸の復興を願う、巨大鉄人28号の建設に関わった卒業生。▶大河ドラマや朝ドラに出演した俳優で、お天気キャスターの卒業生など、多彩な内容でのお届けを予定しています。

教育振興募金 2020年度報告 ～皆様のご支援に心より御礼申し上げます～

本学教育振興募金事業においては、「①教育研究の振興」「②奨学金制度の充実」「③施設の整備・充実」「④海外留学支援（グローバル人材の育成）、課外活動支援の充実」に取り組むべく、これまで募金活動を展開してまいりましたが、2020年度は新型コロナウイルスという未曽有の危機に対応すべく、新たに「⑤新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学生支援」を使途に追加いたしました。2020年度は個人・法人・団体の皆様から延べ537件、総額58,880,915円（昨年度と比較し、概ね件数は倍増・総額は4倍増）※1のご寄付を頂戴しました。教職員一同、皆様のご支援に心より御礼申し上げます。

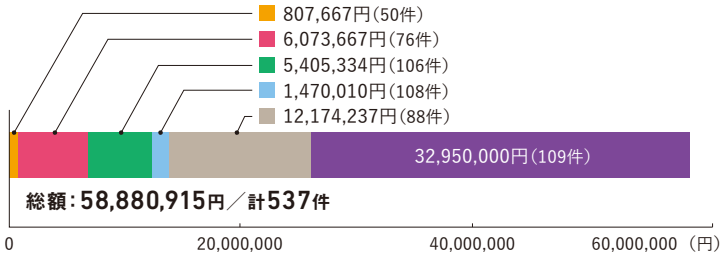
2021年3月に2020年度新入生を対象とした1年越しの入学式を、4月には2021年度入学式をそれぞれ対面で開催することができました。しかしながら、新型コロナウイルスの猛威は衰えることなく、4月下旬に3度目となる大阪府への緊急事態宣言発出に伴い、対面授業からWEB授業への切り替えを余儀なくされるなど、従来の学生生活からはほど遠い状況が依然として続いております。withコロナの時代、学生の安全を最優先課題として掲げつつも、大学として決して学びの質を落とすことのないよう、教職員一同鋭意努めてまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

※1. 件数・金額の算出基準については、本学決算資料に準じます。
会計上、2020年度のご寄付として計上していないご寄付もございますので、ご容赦ください。

2019年度のご寄付



2020年度のご寄付



皆様にいただいたご寄付は
主に以下の学生支援に充てています

修学支援金 / ルーター貸与 / 施設のコロナ対策 / 奨学金拡充等 / 課外活動留学

教育振興募金・ご寄付のお問い合わせ先
大阪経済大学教育振興募金事務局（総務課） TEL. 06-6328-2431（代）

つながる 大経大ファミリー #01



井口 将吾さん
経済学部 2年

井口 正幸さん
1993年・経営学部卒／会社員

Q. 大阪経済大学に入学した理由は何ですか？

父 いくつかの大学を受験しましたが、通学時間が1時間以内で、当時は学費が安かったのもあり、大阪経済大学に入学することを決めました。

息子 私はずっとサッカーをしており、家からも近く、全国大会にも出場するほど強いサッカー部がある大阪経済大学に進学しようと思いました。

Q. ご家族が同じ大学出身で良かったことは何ですか？

父 我家は、私と息子が大阪経済大学、妻と娘が同志社大学、それぞれで昔と今の話をしています。大きく変わった大学への親近感や関心が高まっています。

息子 大学のことが、祖父とも共通の話題になります。施設は新しくなっていますが、父と同じ場所で汗を流していると考えると、私も頑張ろうと思えます！

Q. 学生時代、思い出に残っていることは何ですか？

父 アメフト部に所属し4年生では主将として、2部Aで1位になれたことが井高野の地でひっそり頑張った学生時代の良い思い出です。

息子 今はコロナ禍で学校に行って授業をすることはできませんが、幸いにも部活動はさせていただいているので、後悔のないように取り組みたいと思います。

Q. 学生時代に学んだことや得たことで、いまに活かされていることは何ですか？

父 良き仲間と共に、自分の弱さを知り、逃げずに取り組むこと、仲間との助け合いによって更に成果が上がることをクラブで学び、今に活きています。

息子 大阪経済大学では部活や資格講座などが充実していて、将来役に立つことがたくさんあるので自分の武器を作り大学生活を充実させたいです。

創発 SOU HATSU

本誌へのご意見は、kouhou@osaka-ue.ac.jp へお寄せください。（本誌の無断転載を禁ず）

大阪経済大学 経営企画部 広報課　〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8　TEL 06-6328-2431（代表）　https://www.osaka-ue.ac.jp/